

## 平和僕らの手に

### 南風原中生、ガイド目指す

【南風原】南風原中学校の3年生12人が総合学習の一環で、平和ガイドを目指し、町内戦跡を巡りながら沖縄戦について学んでいる。5月31日には慰霊祈和の塔から南風原国民学校跡、第3外科壕群跡、炊事場跡、飯上げの道など黄金森周辺の戦跡を巡り、7日には沖縄陸軍病院南風原壕群20号を訪れ、ガイドから説明を受けた。



「南風原陸軍病院壕跡の碑」の前で上地克哉学芸員から説明を受ける南風原中3年生ら  
＝5月31日、南風原町喜屋武

### 12人、町内の戦跡巡る

南風原中では昨年からの総合学習「平和ガイド養成コース」を設け、志望

する生徒が参加している。南風原文化センターや南風原平和ガイドの会の協力で、5月17日から5回にわたって町内の戦跡を巡り、地域で起きた戦争について学び、21日には沖縄陸軍病院南風原壕群20号で平和ガイドとしての実践に挑む。

南風原は沖縄戦当時、さまざまな部隊が配属され、前線へ物資を補給する糧秣部隊や兵器敵部隊、病院部隊など後方支援部隊が駐留したことから多くの戦跡が残る。

南風原文化センター学芸員の上地克哉さんが約2時間かけて、黄金森周辺の戦跡を案内。生徒たちは実際に歩くことで、生まれ育ってきた地域に

ある戦跡を再確認し、戦争の惨禍に思いをめぐらしていた。

広島や京都、大阪なども訪問し、平和学習に取り組んでいるという儀間思音君(14)は、「ひいおじいさんが戦争で亡くなったことを知り、戦争や平和について学んでいる。以前、壕に入った時は怖かったが、ここで起きたことを自分たちが伝えたい。祖父や祖母、地域の人たちの戦争体験も聞いてみたい」と意欲を見せた。

(2012年6月11日 24面)

☆南風原に多くの戦跡が残っているのはなぜでしょうか？

☆平和ガイドを目指す生徒たちは、どんな戦跡を見て回るのでしょうか？

年 組 名前